

### 13. 「ぷらっと。てついち」 & 「テクノアゴラ」(室蘭市・輪西商店街振興組合等)

～ 市民参加のまちづくりを旨とし、鉄のまちに複合商業施設、  
室蘭工業大学サテライトキャンパスを実現 ～

#### ■ 街がなくなる危機感から「ぷらっと。てついち」をオープン

輪西商店街は新日鉄住金室蘭製鉄所の真向かいにあり、まさに製鉄所とともに歩んできた歴史ある商店街。しかしながら、周辺人口の減少とともに、商店数も減少し、このままでは街がなくなってしまうとの危機感から、平成9年に町内会、商店街、企業等などで構成する「輪西地区活性化推進協議会」を設立。

翌年、「子に孫に残したい輪西の将来像」を策定し、この計画に基づき、平成13年、複合商業施設「ぷらっと。てついち」をオープン。また、翌平成14年には隣接して市民会館が移転オープンした。



#### ■ 市民参加のまちづくり

「てついち」の中には、商業施設のほか、オープン当初から子育て支援「ワニワニクラブ」が開設されており、地域ボランティアの方々による育児相談など、日ごろから母子との交流が盛ん。さらには、隣接する市民会館に図書室もあり、老人向けの催しが頻繁に行われるなど、自然と人々が集まり交流できる仕組みが出来上がっている。この市民会館を動かしているのは、住民や商店街、企業などでつくるNPO運営委員会だ。

#### ■ 鉄の街にテクノアゴラ出現

こんな中、室蘭工業大学は、平成26年9月に商店街にあった空き店舗を利用して、サテライトキャンパス「テクノアゴラ」を開設。施設は、「地域貢献や、現在進めているCOC構想(知(地)の拠点)の一貫として、テクノカフェや、ものづくり教室の開催、公開講座の実施など、地域住民や商店街の協力を得て学生が地域に出て活動を行う拠点(ひろば)とする」ことを目的に開設された。

施設内には、ステンレスで作られた全長3メートルの恐竜の骨格模型や巨大ジギスカン鍋などが展示されているほか、これまで、学会や共同研究の打ち合わせ会場としての利用や市民講座、子供向けのものづくり教室などが開催されている。

ものづくり教室の様子



土田理事長は、「商店街は、この地域で買い物弱者をつくらない、安心して遊べる、住みよい街づくりを目指している」と断言する。

また、平成27年6月と12月には、製鉄所と協力企業の独身寮2棟が完成し、独身者約400人の入居が始まって、若い人たちが増え、新しい「鉄のまち」として、より一層活性化することが期待されている。

照会先

(運営主体等)

■ 輪西商店街振興組合 (0143-43-5846)

室蘭市輪西町2丁目5番1号ぷらっと。てついち内

■ 室蘭工業大学ものづくり基盤センター (0143-46-5971)

室蘭市水元町27-1